

日本財団「18歳意識調査」 調査概要 **—速報—****第26回 学校教育と9月入学**▼休校でもっとも困ったことのトップは「**学業**」37.4%
「**友達とのコミュニケーション**」20.3%、「**受験や進学・就職**」17.8%

Q 休校により、あなたでもっとも困ったことを以下からお選びください。
(単一回答) (n=1000)

休校により、もっとも困ったこと

1位	学業	37.4%
2位	友達とのコミュニケーション	20.3%
3位	受験や進学・就職	17.8%

※4位以下は、次の通り。

「部活動」(9.3%)、「体育祭や文化祭などの行事」(4.1%)、
「学費の負担」(2.2%)、「卒業式や入学式」(2.1%)、
「修学旅行」(1.4%)、「その他」(5.4%)

休校でもっとも困ったことの原因 自由記述の抜粋※一部抜粋・原則として原文ママ**学業**

- ・「初のオンライン授業に戸惑った」「ネット環境がわるく授業が受けにくい」
- ・「大学に入学したのに、実際に大学で講義を受けることができず、対面に比べて定着力の低下を感じるから。」「家にいると、勉強時間が決まっていなくて、サボってしまうからです。」
- ・「勉強して質問したいことがあっても先生に訊くことができないから。」「実技科目が多いのでオンラインではなかなか授業ができないから」「実技・実習を中心に行う専門的な授業が多いため、リモートワークでは不十分な点が多いため。」

友達とのコミュニケーション

- ・「大学に、知り合いが少ないので友達を作りたいが、その機会もないまま大学が始まってしまった」「大学進学で右も左もわからず、だれに相談していいのかわからなかったから」「大学に入学してもまだ新しい友達が出来ないことと、サークルの紹介がなくなってしまったため。」
- ・「休校になると、友達と会うことができなくなり、友達と話せなくなるため寂しいしストレスに繋がります。」「友達と会って話してこそその学校生活だから。」「仲の良い友人と会えず、気持ちがとても暗くなりました。」

受験や進学・就職

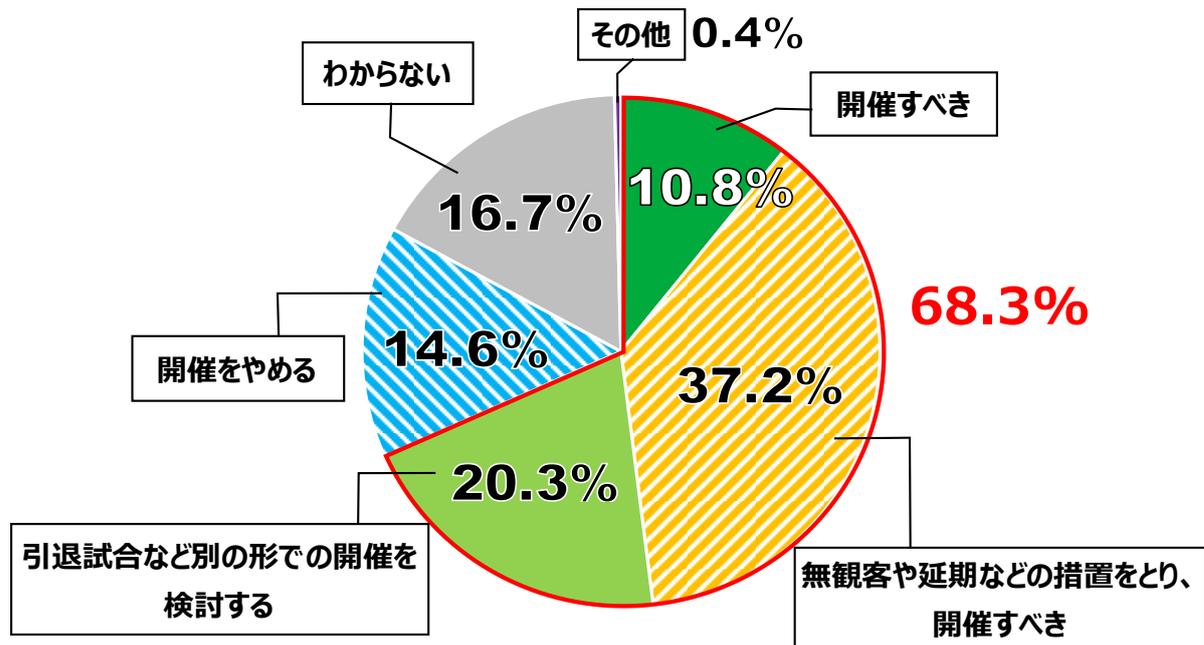
- ・「今現在高校3年で入試について例年通りの情報が得ることが出来ず不安である。大学のオープンキャンパスなどに参加することが出来ず大学のことが詳しく分からないこと。」「オープンキャンパスがなくなって、学校の雰囲気などを詳しく知ることが出来なくなったこと。受験勉強が大変なこと。」
- ・「受験勉強の進捗に差がでる。オンライン授業もなく課題がたくさん出ただけなので、ただ課題をこなすだけになってしまった気がするから」「今年度受験を控える身で、学校や塾の授業体制が大きく変わり、カリキュラムの実施状況にも多大な影響が及んだから。」「海外の大学に進学予定のため、ビザや家探しなどスムーズに行かない。渡航できるかもわからない。」
- ・「9月入学が検討されている、とばかりニュースなどで報じられているが、大学受験が例年通り1月から2月にかけて行なわれるのか全く情報がなく不安だから。」「受験が延期になったら困るから。」
- ・「ちょうど進学や就職の年齢なので休校になると受験や就職活動に影響が出る」「就活がストップしてしまっているから」「就職については先行きが不透明で不安だから。」

▼部活動の大会 何らかの形で開催すべきが 68%

「無観客や延期などの措置をとり、開催すべき」37.2%

「引退試合など別の形での開催を検討する」20.3% 「開催すべき」10.8%

Q 今後に予定される部活動の大会をどうすべきだと思いますか。(n=1000)



何らかの形で開催すべき理由 自由記述の抜粋※一部抜粋・原則として原文ママ

当事者視点の意見

- 「これまで一生懸命やってきたのになくなるとなると、悔しい」「今まで頑張ってきたのに何もせず終わるのは嫌だ、プロ野球は開催されて、甲子園や他の部活の大会はやらないなんておかしい。プロが優遇されてるのは納得がいかない」「大会が学生の部活動の全てで全員大会に向けて練習しているから」【開催すべき回答者】
- 「ここまで頑張ってきたのになくなってしまふのは辛いから」「不完全燃焼で終えたくないから」「練習してきたから大会で発揮したい」【無観客や延期などの措置をとり、開催すべき回答者】
- 「運動部としては最後の部活をしたい。」「自分も部活をしていて今年が最後だったが、そこまで大きな大会ではなくていいからなにかしら引退試合が欲しいという気持ちがあるから」「自分も今年の夏引退だったが、中止になってしまったので、最後に記録を残したかったから。」「息抜きや趣味程度の人もあるが、特に野球などは小さいから甲子園などを目指して頑張ってきた人もいるのに、この高3になったとたんコロナのせいで試合も、出来ずに終わってしまうのが悲しいから。自分も含めて全高3は部活の引退の区切りができないから。」「引退試合など別の形での開催を検討する回答者】

コロナ感染対策を行った上で実施すべき

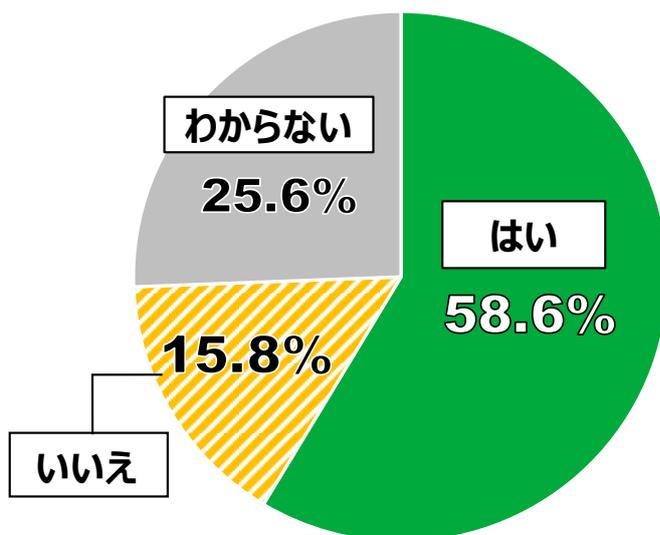
- 「しっかりと措置をとった上で開催したほうが良いと感じたから」「人を極力減らして、感染予防を徹底すれば開催は可能だと思う」「感染者数の減少に応じて、ある程度の対策をとりながらであれば行っても問題ないから。」「感染を防止しつつも今までの努力を無駄にしない方がいいから」【無観客や延期などの措置をとり、開催すべき回答者】

開催を応援したい第三者の意見

- 「やはり、みんな、部活動を一生懸命頑張りたい気持ちはあるはず。その気持ちを尊重してあげたい。」「3年になってやっと、レギュラーを勝ち取れた人もいるのに、日の光を浴びれないから」「中学や高校で部活動に取り組んだ生徒たちになんとかして、1つの形として終わってほしいから。」「無観客でも自分の力を最後に発揮したいと思うだろうから」「高校野球やインターハイなどそこに出るために全てをかけてやってきたことがなくなるのは良くないことだと思う。また、そこで活躍をし将来プロに成れたかもしれない人がいたかもしれない」「AO試験など、部活動の成績で大学に行きたいと考えていた人もいるはず」【無観客や延期などの措置をとり、開催すべき回答者】
- 「開催を強行するというのはこの状況では良しとできないと思う。しかし、3年近く頑張ってきた部活をここで終わるとするのは悔しい気持ちが一生残ると思うので。」「学生の中にはすべてを部活動に捧げてきた人もいるため、何かしらの措置をとってでも開催してあげてほしいから」「最後の大会に向けて頑張ってきた人達が報われて欲しいから」【引退試合など別の形での開催を検討する回答者】

▼休校措置により、教育格差を感じる 58.6%

Q 今回の休校措置により、教育格差を感じるがありますか。(n=1000)



格差を感じる理由 自由記述の抜粋※一部抜粋・原則として原文ママ

- ・ **オンライン授業の導入状況**「私立と都立ではオンラインでの授業などで、勉強時間の差が出てしまうと思うから。」「同じ公立高校でも、3月からオンライン授業が始まった学校や、5月になってやっと始まった高校があるから」「私立に通っている人たちはオンライン授業をやっているのに、公立に通う私たちは自習で頑張るしかないから」
「休校措置がとられても、オンライン授業で知識を増やしていく学校、課題のみ郵送されてくる学校で格差がある」「宿題も少ないし、オンライン授業もなく、他校との差を感じたから。」
- ・ **休校期間の差**「私の学校はまだ学校に行けてないけど、友達の学校は学校で勉強できているから」
「休校が長引いた地域と早急に再開した地域とでは差が開く一方だと思う。」「地域により、学校が再開されてるところとされてないところがあるから。」「他の大学ではすでに授業開始1ヶ月経っているのにも関わらず、私の大学は昨日始まったような実例があるから」
- ・ **家庭環境**「学校がないから、塾に通っている子どもといない子どもとで差が生まれてしまうと思うから。」「オンライン環境が整っていないと勉強できないから」「ネット環境はすべての生徒にはない」「教えてくれる大人(親)が常にいるかないかの差は大きいと思います」
- ・ **自宅学習の習慣**「オンラインでの課題配信が中心の学習となっており、自主的に学習できる生徒とそうでない生徒の差が生じている」「学校以外で学習する習慣がない人は遅れると思う」「勉強方法がわからない方や先生に聞かないとわからない方は一人だとできる人に比べて勉強ができなくなると思う」

▼学習の遅れの打開策 1位は「オンライン授業を増やす」52.5%

2位は「夏休みなどの長期休暇を減らす」38.8%、3位は「9月入学の導入で卒業時期を延期する」25.9%

Q 休校による学習遅れが問題になっています。打開策として何が考えられますか。(複数回答) (n=1000)

休校による学習遅れの打開策

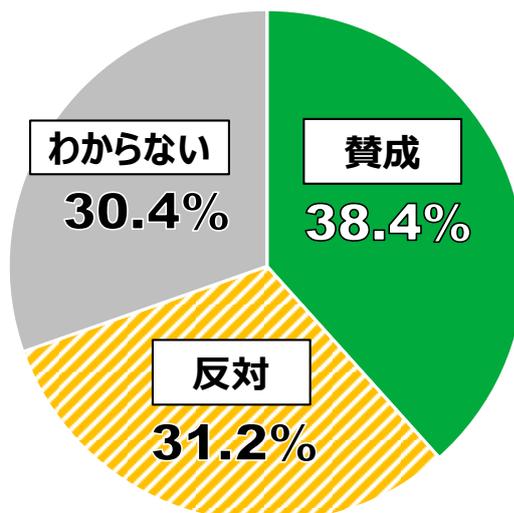
1位	オンライン授業を増やす	52.5%
2位	夏休みなどの長期休暇を減らす	38.8%
3位	9月入学の導入で卒業時期を延期する	25.9%

※4位以下は、次の通り。

「土日祝日も授業を行う」(22.4%)、
「学習指導要領を改訂しカリキュラムを減らす」(20.8%)、
「わからない」(10.3%)、「その他」(1.0%)

▼ 9月入学の導入 賛成 38.4% 反対 31.2%

Q 9月入学の導入についてどう思いますか。(n=1000)



■「賛成」回答者

Q 9月入学の導入に「賛成」の理由を、以下から選択してください。(複数回答) (n=384)

賛成	
1位	休校による授業の遅れを取り戻せる 81.3%
2位	冬季を避けた入試が可能 37.5%
3位	留学がしやすくなる 36.5%

※4位以下は、次の通り。
 「若者の活動の場が国際的に広がる」(29.2%)、
 「留学生の受け入れなどが拡大する」(21.9%)、
 「留学をした人が国内で就職活動がしやすくなる」(18.8%)、
 「その他」(4.7%)

■「反対」回答者

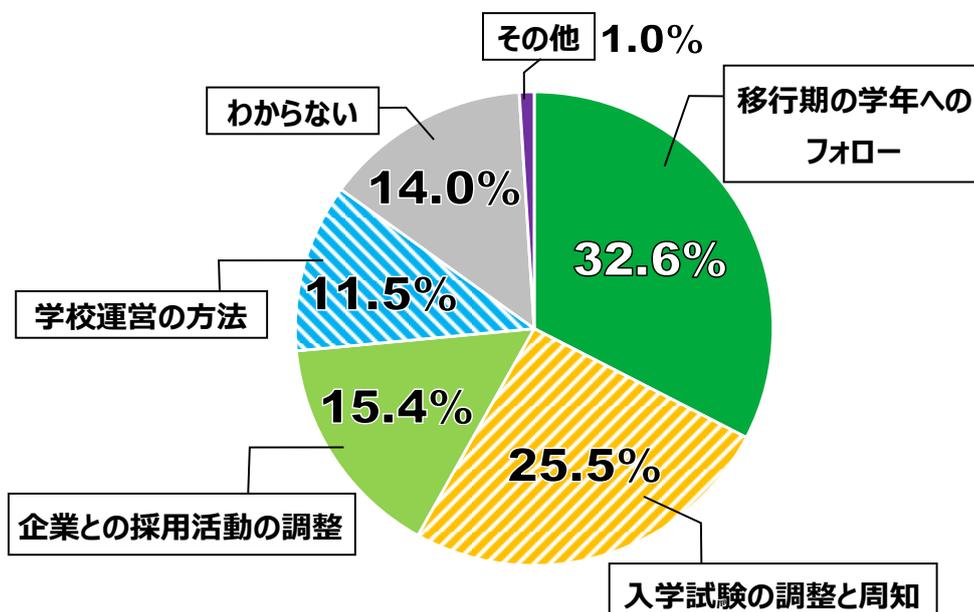
Q 9月入学の導入に「反対」の理由を、以下から選択してください。(複数回答) (n=312)

反対	
1位	入学試験に影響する 55.4%
2位	春卒業・春入学が日本の文化 39.1%
3位	移行に伴う個人負担が増える 36.9%

※4位以下は、次の通り。
 「移行に伴って国や学校の財政負担が増す」(28.5%)、
 「平時に時間をかけて検討すべきテーマ」(26.0%)、
 「海外への人材流出が懸念される」(3.8%)、
 「その他」(12.8%)

▼ 9月入学の検討に求める議論は「移行期の学年へのフォロー」 32.6%

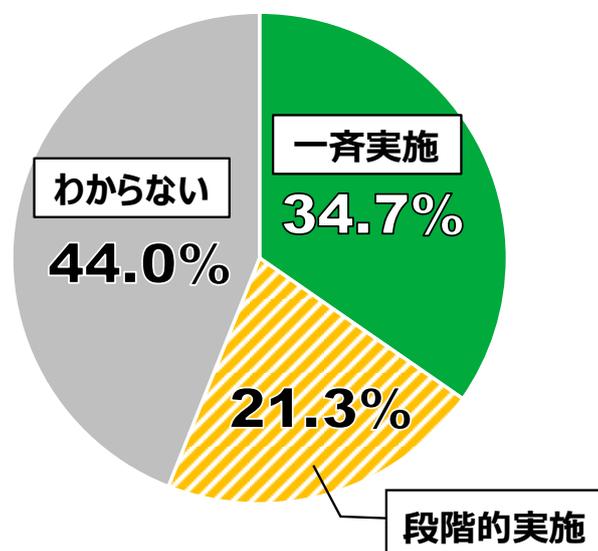
Q 9月入学を導入する場合、どのような議論が必要だと思いますか。(n=1000)



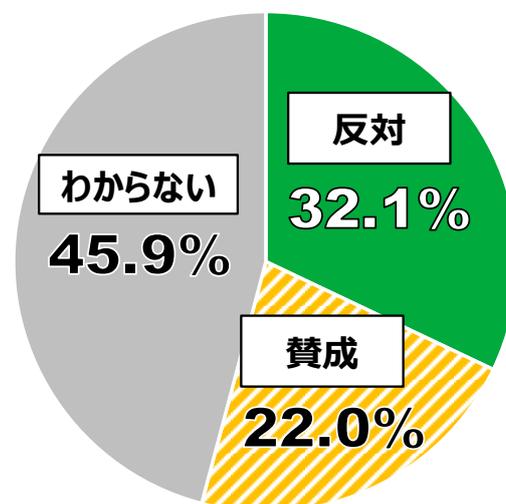
▼9月導入の方法は一斉実施を34.7%が支持

「小学0年生」の導入は32.1%が反対

Q 文部科学省は、2021年から9月入学を実施する場合の2案を提示しました。9月入学を導入する場合、どちらが相応しいと思いますか。(n=1000)



Q 「小学0年生」の導入が検討されていますが、どう思いますか。(n=1000)



▼再度休校が行われた場合、学習時間を確保するための対策

「オンライン授業の導入と整備」50.8%でトップ

Q 再度休校が行われた場合、学習時間等を確保するためには、どのような対策が必要だと考えますか。(単一回答) (n=1000)

学習時間等を確保するための対策

1位	オンライン授業の導入と整備	50.8%
2位	家庭での学習を考慮した授業設計	16.6%
3位	わからない	10.2%

※4位以下は、次の通り。

「奨学金制度の充実」(8.2%)、「生徒との連絡体制を密にする」(6.9%)、
「自主学習など低学年の学習内容の強化」(3.6%)、
「部活動の継続した実施方法」(3.3%)、「その他」(0.4%)

※現状のオンライン環境については別紙をご参照ください

▼取り入れるべき教育制度

「得意科目を伸ばすようなカリキュラムの導入」 22.9%

Q 今後、どのような教育制度を取り入れるべきだと思いますか。
(単一回答) (n=1000)

取り入れるべき教育制度

1位	わからない	29.1%
2位	得意科目を伸ばすようなカリキュラムの導入	22.9%
3位	1年ごとの単位制を全学年を通した単位制に改める	20.8%

※4位以下は、次の通り。

「飛び級や早期卒業の導入」(16.8%)、
「中学・高校段階での留学のしやすさ」(8.8%)、
「その他」(1.6%)

▼コロナ禍を経て、学校教育はどのように変わるべきか ※一部抜粋・原則として原文ママ

- ・ **オンライン教育の推進** 「どんなときでも授業を受けられるような災害時にも対応できる仕組みを導入すべきだと思う。」「不登校児でも、授業に参加し学力を上げる手段が作れたと思うので、Web授業も継続すべき」
「感染症のような大きな混乱があっても問題なく代替りの授業方式に切り替えられるようにすべき」「もっと自由な学び方が保証されるべきだと思う。わざわざ学校へ通うのではなく、オンライン授業が増えればいいのと思う。」
「この際オンライン授業やこのような騒動になった場合に対応するためにタブレットなどを導入すべきだと思う。」
- ・ **教員の負担軽減** 「教員の賃金上昇を図り、ITなどを活用した授業を展開する必要があると考える。」
「教員にとって働きやすくなってほしい。先生が疲れているのをよく見るので。」「教員は部活動時に無給で働いているという話があるが、そのような事態になっているのなら、部活動の文化を見直して今よりも部活動の数を減らす必要があると思います。」
- ・ **9月入学の導入** 「私は9月案に賛成しているので、そういう方向性も考えていくべきだと思います。就活生、受験生にとってもそっちのほうが卒業まで期間があるのでありがたいと思います。また、オンラインでの授業が可能だと証明できたと思うので、普段からもっとオンラインでの授業を取り入れていってもいいと思います。」「このパンデミックを期に受験時期などを世界水準に合わせることで、留学制度も充実し日本の学業のレベルも向上すると思う。」
「無駄な議論に時間を費やすべきでは無い。そんなことをしている間に子供の時間は刻々と過ぎていってしまう。今、9月入学の可否を決議すれば後々、様々な問題を生むため、もっと落ち着いてからその議論をするべきである。であるから、今ある体制でできる限りのことをするように変えるべき。」
- ・ **制度変更** 「飛び級、留年を採用し、学年についての概念をなくす」「飛び級などを取り入れ教育にかかる負担を少なくするべき。」「外国のように飛び級ができるようにしたり、コロナの影響で学問の遅れを取り戻すためにも授業日数を重視するのではなく、小学校なら6年間で卒業できる単位を設定した単位制にしていくといいと思う。」
- ・ **多様性・自主性** 「普段からオンライン授業で苦手な子のフォローができる仕組みがあればいいなと思います。」「全生徒に同じカリキュラムを与えるのではなく、ひとりひとりが自主的に取り組みたいような科目(得意科目)に焦点をあてた教育にするなどして、学校を管理や監視のための場所でなくする必要があると思う。」

■ 調査概要

調査対象：全国の17歳～19歳男女 1,000人

除外条件：印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間：2020年5月26日（火）～5月28日（木）

調査手法：インターネット調査

■ 調査報告書について

6月下旬にプロジェクトページに報告書を掲載予定です。

https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

■ 自由回答の公開について

以下の項目は公式 web サイトにて公開しています。

1. 休校により、あなたがもっとも困ったこと 回答理由
2. 今後の部活動の大会をどうすべきだと思うか 回答理由
3. 休校措置により教育格差を感じることもある 回答理由
4. 9月入学を導入する場合、どちらが相応しいと思うか 回答理由
5. 「小学0年生」の導入について 回答理由
6. 学校教育はどのように変わるべきか

■ 18歳意識調査について

2015年の改正公職選挙法で選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられ、翌年の参院選から新たに「18～19歳」が投票に参加しました。民法の改正に伴い2022年4月には成人年齢も18歳に変わります。そこで日本財団では、18歳の若者が何を考え、何を思っているのか、継続して調べる意識調査を2018年10月からスタートさせました。次代を担う18歳の意識を幅広く知ることによって新しい社会づくりに役立てるのが狙いです。

■ お問い合わせ先

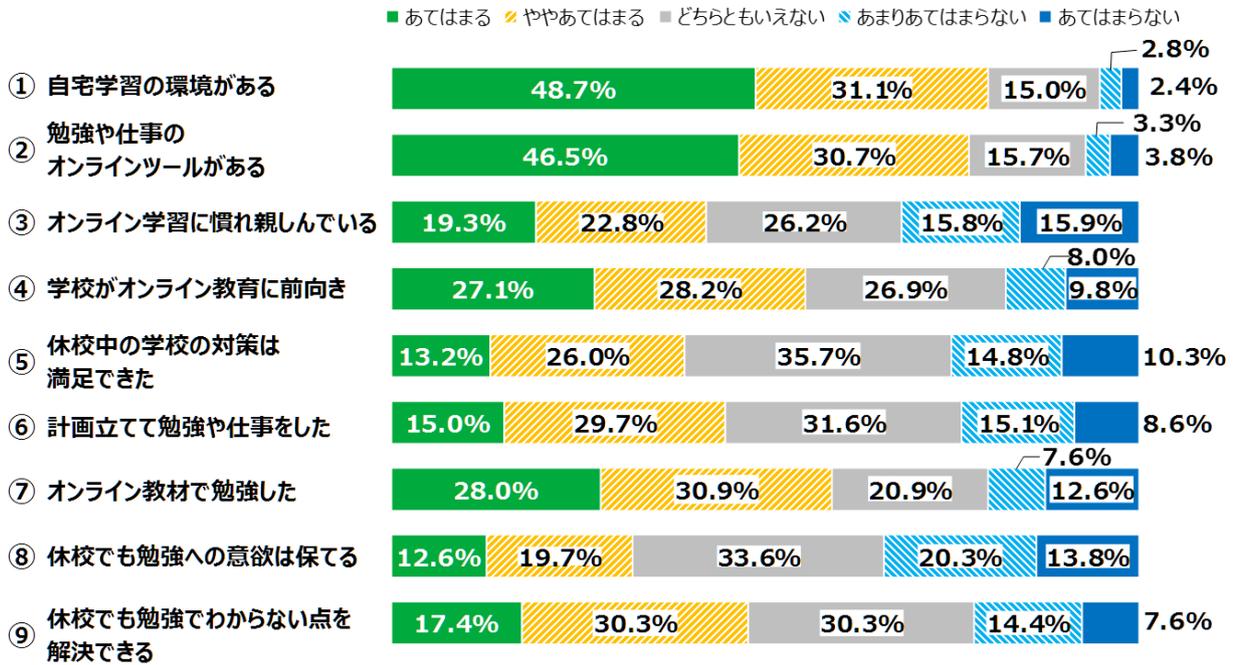
日本財団 広報チーム 坂本織江

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル

TEL : 03-6229-5131 / FAX : 03-6229-5130 E-mail : pr@ps.nippon-foundation.or.jp

外出制限が行われたときの学習環境

Q 外出制限が行われた場合を想定し、以下についてお答えください。(単一回答) (n=1000)



- 設問：
- ①勉強や仕事ができる環境が自宅にある
 - ②必要に応じて勉強や仕事で問題なく使用できるオンラインツールがある
 - ③普段からオンライン学習に慣れ親しんでいる
 - ④通っている学校ではオンライン教育に前向きである
 - ⑤休校中の学校の対策は満足できるものだった
 - ⑥計画立てて(勉強または仕事)をしていた
 - ⑦オンラインの動画教材配信などで勉強した
 - ⑧休校になった場合、勉強への意欲は保てる
 - ⑨休校になった場合、勉強でわからなかった点を解決する手立ちはある